

4 調査

I 世論調査

区では、区民の区政に対する意識や意向を的確に把握するために、昭和 49 年から 2 年に一度、世論調査を実施しています。今回の調査は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、公共施設、区議会、読書と図書館利用などの項目についてもおたずねしました。

(1) 調査の概要

調査対象：品川区在住の満 18 歳以上の男女（令和 4 年 7 月 1 日現在）

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

対象者数：2,500 人

調査方法：郵送配布・郵送回収またはインターネット回答

回収数：1,197 人（郵送回収 761 人 インターネット回答 436 人）

回収率：47.9%

調査期間：令和 4 年 8 月 1 日～8 月 31 日

(2) 調査の内容

令和 4 年度は、15 分野 40 間について調査しました。

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 公共施設について
- 5 区議会について
- 6 地域活動への参加について
- 7 スポーツ・運動の実施状況について
- 8 環境について
- 9 ごみ減量・リサイクルについて
- 10 みどりについて
- 11 心の健康・自殺対策について
- 12 防災について
- 13 読書と図書館利用について
- 14 広報とデジタル化について
- 15 シティプロモーションについて

(3) 調査の結果

1. 定住性について

定住意向をたずねたところ、「ずっと住みたい」（45.8%）と「当分は住みたい」（45.9%）を合わせた『定住意向』は91.7%であり、非常に高い割合となっています。また、東京都、区部との比較でみると、東京都より20.9ポイント、区部より19.3ポイント高くなっています。

2. 生活環境について

生活環境を評価点でみると、「交通の便」「買い物の便」は4点を超える高い評価点となっています。他方、「騒音や振動」「海・川・運河などの水の汚れ」「住宅の密集具合」「近所の付き合い」といった、生活の快適さに関する項目で評価点がやや低くなっています。

3. 重点施策について

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「災害対策」が30.8%で最も高く、次いで「安全な市街地整備(木造住宅密集地域の改善・空き家対策など)」（28.0%）、「生活安全(防犯対策・歩行喫煙など)」（24.1%）、「保健・医療・健康(新型コロナウイルス対応を含む)」（22.4%）の順となっています。

4. 公共施設について

区全体の公共施設の数についてたずねたところ、「現状を維持すべき」が45.1%で最も高く、次いで、「足りないため増やすべき」が15.5%、「多すぎるため減らすべき」が2.5%となっています。

5. 区議会について

区議会への関心をたずねたところ、「大いにある」（5.3%）と「ある」（17.5%）と「少しある」（27.4%）を合わせた『ある』計は50.2%となっています。

6. 地域活動への参加について

町会・自治会の加入状況をたずねたところ、「加入している」が44.7%で4割半ばとなっています。一方、「加入していたことがある」（4.2%）と「加入了ことがない」（34.3%）を合わせた『加入していない』は38.5%となっています。

7. スポーツ・運動の実施状況について

スポーツや運動を行う頻度をたずねたところ、「週に3日以上」が30.0%で最も高く、次いで「週に1日」(17.3%)、「週に2日」(15.8%)、「月に1~3日」(11.9%)となっており、週に1日以上実施した方が63.1%となっています。一方、「実施しなかった」は13.5%となっています。

8. 環境について

環境を守るために日常生活で心がけていることをたずねたところ、「ごみ・資源の分別を徹底し、古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出す」が66.7%で最も高く、次いで「節電、節水を心がけている」(61.5%)、「家庭での食事や外食時、食事は残さず食べるよう努めている」(57.1%)、「使い終えた油を流さないなど、家庭排水に気を付ける」(48.8%)、「料理や買い物をする際に、食品ロスを減らすよう気を付けている」(45.9%)の順となっています。

9. ごみ減量・リサイクルについて

各種事業の認知度をたずねたところ、「プラスチック製容器包装を資源として回収」が80.6%で最も高く、次いで「「資源・ごみの分け方・出し方」冊子の発行」(50.0%)、「古着、廃食用油、不用園芸土、小型家電の拠点回収」(49.4%)、「フリーマーケットの開催・運営支援」(24.8%)の順となっています。

10. みどりについて

品川区のみどりについてたずねたところ、「とても多い」(5.5%)と「やや多い」(31.2%)を合わせた『多い』は36.7%となっています。一方、「やや少ない」(38.4%)と「とても少ない」(9.0%)を合わせた『少ない』は47.4%となっています。

11. 心の健康・自殺対策について

自殺対策は自分自身に関わることだと思うかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」が26.5%で最も高く、次いで「そう思う」(23.0%)、「そうは思わない」(22.4%)となっています。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた、自殺対策は自分自身に関わることだと『思う』は49.5%でした。

12. 防災について

今後充実すべき防災対策についてたずねたところ、<自助・共助>では「防災用品の備蓄（非常用携帯トイレ、水など）」が 87.2%で最も高く、次いで「家具の転倒・落下防止対策」（58.1%）となっています。<公助>では「自然災害（地震、津波、風水害、がけ崩れなど）発生時における帰宅困難者対策」が 52.4%で最も高く、次いで「さまざまな情報発信」（49.3%）となっています。

13. 読書と図書館利用について

1カ月の読書量をたずねたところ、<紙の本>では「ほとんど読まない」が 49.7%となっています。「1～2冊」は 32.5%、「3～4冊」は 9.2%となっています。<電子書籍>では「ほとんど読まない」が 75.4%となっています。「1～2冊」は 13.4%となっています。

14. 広報とデジタル化について

区に関する情報の入手先をたずねたところ、「区のお知らせ 広報しながら」が 56.1%で最も高く、次いで「品川区ホームページ」（33.4%）、「町会回覧板での「○月の品川区からのお知らせです」（ちらし）」（13.5%）の順となっています。

15. シティプロモーションについて

品川区への愛着や親しみ、誇りについてたずねたところ、「感じている」（33.5%）と「どちらかといえば感じている」（49.0%）を合わせた『感じている』は 82.5%であり、非常に高い割合となっています。